

## 「目利きの弁理士によるキラリと輝く発明発掘プロジェクト」 高専生が生み出したアイデアが特許に！

日本弁理士会と独立行政法人国立高等専門学校機構が連携して取り組む「目利きの弁理士によるキラリと輝く発明発掘プロジェクト」において、その第2号案件となる特許が2026年1月に成立しました。

本プロジェクトは、高専生がコンテストで生み出したアイデアの中から、弁理士が“特許になる発明”を見抜き、学生と伴走しながら権利化まで支援するプロジェクトです。

今回の特許は、2025年3月に成立した第1号案件に続く2例目となります。

特許が成立したのは、函館工業高等専門学校のチーム「LSQ」12名が制作した災害時の電力を確保する革新的装置「PoGet(パジェット)」。

この「PoGet」は

- 小型漁船などに搭載される船外機に接続
  - 誰でも簡単に“電気を取り出せる”非常用電力供給装置
- という、災害時に抜群の機能を発揮する装置です。

この「PoGet」は、第3回高専防災減災コンテストにて「文部科学大臣賞」「関電工賞」のダブル受賞を果たしたものです。

この「PoGet」のアイデアについて、弁理士が学生へのヒアリングを通して発明を発掘し、特許出願を行った結果、出願からわずか約2カ月という極めて速い期間で特許成立に至りました(特許第7809242号)。

日本弁理士会は本プロジェクトを通じて、

- ・高専生のアイデアに眠る発明の発掘
  - ・特許取得という成功体験の提供
  - ・将来の技術者育成
  - ・地域や社会への技術還元
- を目指しています。

今後も多数の発明を発掘し、特許取得を後押ししてまいります。



発明内容について学生にインタビュー



特許証と記念撮影

(左から) 日本弁理士会 知的財産支援センター 野呂 亮仁  
函館工業高等専門学校  
チームLSQ 中山 暁、北村賢汰、鈴木 侃  
日本弁理士会 北海道会 大窪 智行(代理人)  
同 知的財産支援センター センター長 吉村 俊一